



学校だより

勿来二小

平成28年9月16日(金)

第57号

いわき市立勿来第二小学校長

はきものをそろえる！



上の写真は、昨日の朝、いつもどおり朝の立哨指導が終わり校舎内を巡視していた時、ふと目にした下駄箱の様子です。昨日は、朝、小雨が降り長靴を履いていた児童もいました。バザーの荷物もはやく届けたいと思った児童もいたはずですが、でもどの学年も履物は、きれいにそろっています。(履物だけでなく、傘も決められた場所に、置かれていました。)

「そろうと 気持ちいいね。」という声が、下駄箱から聞こえてくるようでした。

その声を感じた時、ある住職さんの詩を思い出したので紹介します。

はきものをそろえる

はきものをそろえると 心もそろう
心がそろうと はきものもそろう

ぬぐとときに そろえておくと
はくとときに ところがみだれない

だれかが みだしておいたら
だまって そろえておいてあげよう

そうすれば きっとせかいじゅうの
人のこころも そろうでしょう

これは、長野市の円福寺の藤本住職がつくられた詩です。戦後疎開してきた多くの子どもたちを預かった時、玄関に無造作に脱ぎ散らかされていた靴を見て、この詩をつくり、子どもたちと一緒に詩を読み考える中で、「そろえる」ことの大切さを諭したと言われています。

まずは、自分の靴を大切に感謝の気持ちでそろえることが、大事であり、それがで

きる人は、他の人の靴 のことも気付くことができ、そろえることもできる。そうやって、自分のことから始め、周りのことを大切に考えて自分で気づき、考え、行動できる人間が増えると、おのずと自分も家庭も地域も、そして、この国のすべての人間が幸せになることを知れたかったのではないかと思います。

ぜひ、ご家庭でもこの詩をお子さんと一緒に声に出して読み、その文字や行間に込められた藤本住職の思いを心で感じ取っていただければと思います。

この学校便りを書いていて思い浮かべました自分の家の玄関を……。今日、帰ったら、私もさっそく だまって そろえようと思いました。

ただ、その「だまって」というのが……！

